

令和3年度使用中学校用教科用図書の「採択教科用図書」及び「採択理由」

【美術】

1 採択教科用図書

- 日本文教出版社

2 採択理由

(1) 日本文教出版社は、各学年の目標、内容、学習指導要領の趣旨を踏まえて、次のような編集がなされている。

- 中学3年間の美術科の学びを見通すことのできる「成長地図」の学習からスタートし、自分と向き合いながら、将来の生き方を意識できるような題材を配列するなどの工夫が見られる。
- 美術1の巻末資料に「発想や構想の手立て」を示し、全題材において、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。また、「知識・技能」を習得させるために、題材の冒頭に活動や目的を示し、造形的な特徴に着目することができるような工夫が見られる。
- 各題材に「造形的な視点」として対話が生まれるような問いを設け、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。また、題材の随所にQRコードを掲載し、見たい角度や距離感から立体作品を鑑賞することができるようにするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。

(2) 日本文教出版社は以下の点で、特に本地区の実態に合致していると言える。

- 美術館がほとんどない本地区において、鑑賞の充実は課題であるが、本教科書は3分冊になっており、見開きを使って大きく作品を見せ、折り曲げて立たせるなどの操作が設定されており、生徒の感性を揺さぶる鑑賞指導が行いやすい。
- 地域と関連付けて考えられるようにするために、「祭りを彩る造形」では、故郷復興プロジェクトを掲載するなど、社会の中の美術の働きについてより身近に感じさせる工夫がされている。

日向市教育委員会においては、北部採択地区協議会での「研究資料」及び専門委員の報告に対する質疑・応答後の選定結果を参考に、教育委員による協議がなされ、日本文教出版社の教科用図書が最適であるとして採択した。